

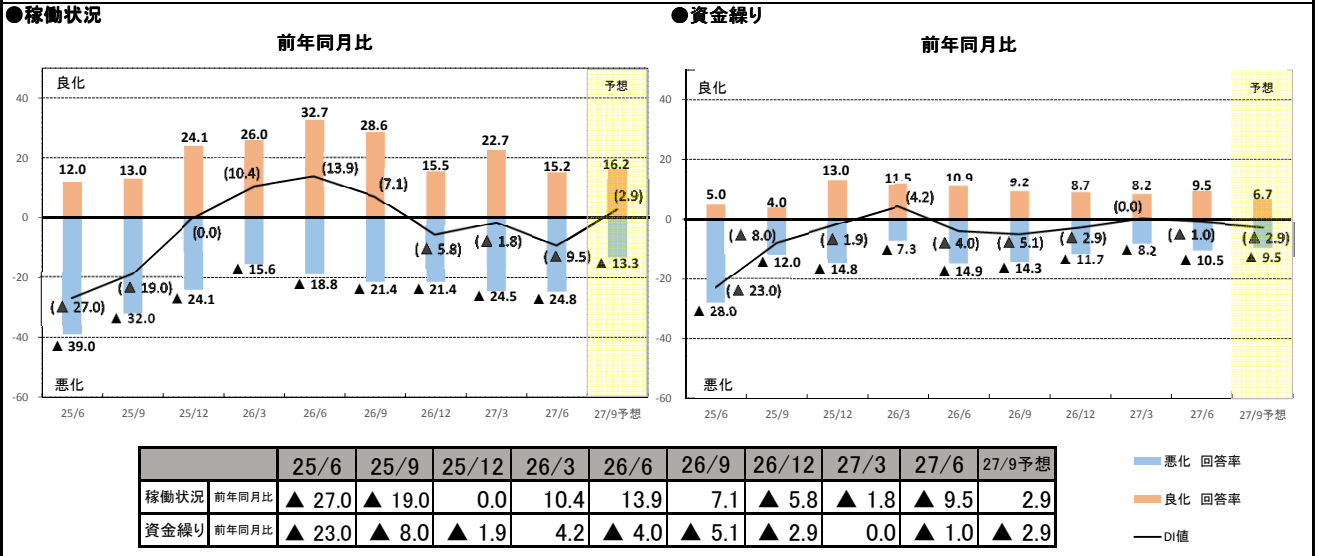
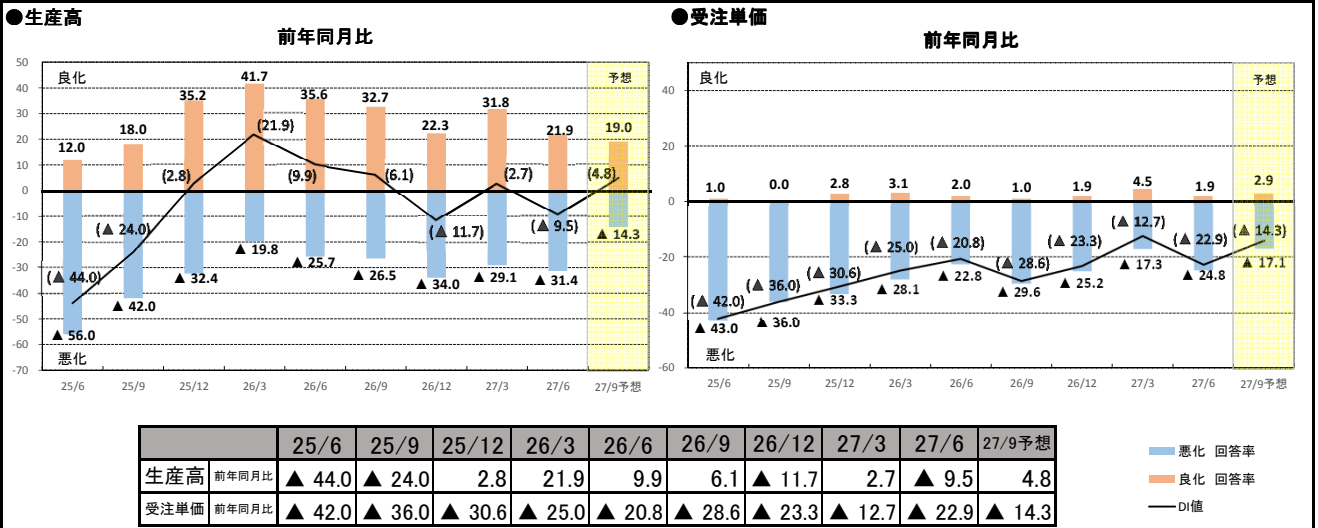
受注企業動向調査結果

-2015.7-

- 調査時点 平成27年6月調査(平成27年6月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 105社(回答率:70.00%)

プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	9社
金属製品	22社
一般機械器具	25社
電気機器	17社
輸送用機器	6社
精密機器	11社
縫製	6社
計	105社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは(▲9.5)で前回の(2.7)から12.2ポイント減の大幅悪化となった。
- ・受注単価DIは(▲22.9)で前回の(▲12.7)から10.2ポイント減の大幅悪化となった。
- ・稼働状況DIは(▲9.5)で前回の(▲1.8)から7.7ポイント減の悪化となった。
- ・資金繰りDIは(▲1.0)で前回の(0.0)から1.0ポイント減で横ばいとなった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(4.8)で14.3ポイント増の大幅良化、受注単価は(▲14.3)で8.6ポイント増の良化、稼働状況が(2.9)で12.4ポイントの増で大幅良化、資金繰りは(▲2.9)で1.9ポイント減で悪化という予想になった。
- ・円安の影響で生産の国内回帰の傾向にはあるが、単価が海外基準のため厳しく、生産高の増加には繋がっていない。また、人材不足やそれに伴う人件費の上昇が厳しいという声が多く、企業にとっての大きな課題となっている。